

# 寄付教育プログラム

- 「社会のためにお金をつかう行為」である寄付を通じて社会に関わる決定を体験するコンテンツ
  - 受講者（学生を想定）は、社会課題やその解決に取り組む非営利団体のことを学び、支援したいと思う寄付先を選定し寄付の実行に関わることにより、社会課題やその解決に取り組む団体のことを理解
  - 未来の社会に対する寄付が増加し、SDGs達成に向けた取り組みが促進されることが目的
- \* 自組織の寄付原資を活用し、次世代の教育活動に貢献したいとお考えの企業・金融機関・自治体・財団等がプロジェクトオーナーになることを推奨**

## 社会貢献・人材育成 推進



- 自組織で、社会貢献活動や、寄付付き商品の提供を通じ、一定の寄付活動を実施。
- 当該寄付によって社会に与える影響を教育コンテンツ化し、高校生から大学生の受講者にプログラムを提供。
- 「社会のためにお金を使うこと」の意義を考える機会を創出。

### 受講者



高校性～大学生（応相談）

日本総研からは授業を実施するコーディネーターが参加

### プロジェクト概要



- ① 日本総研より、企業・自治体・財団で寄付を実施しているプロジェクトオーナーのニーズ把握
- ② SAKI寄付教育に関心のある教育機関を抽出
- ③ ①オーナーの寄付原資を活用し、SAKI寄付教育を実施
- ④ 受講者が選定した寄付先に寄付実行、寄付先から受講者へフィードバック
- ⑤ ①オーナーの社会貢献活動として取りまとめ

### 本事例のポイント



- 自組織の寄付を活用して、寄付が社会にもたらすインパクトとはなにか、そして寄付の教育コンテンツ化によって、寄付そのものの付加価値向上を実現していること

出所：日本総研作成